

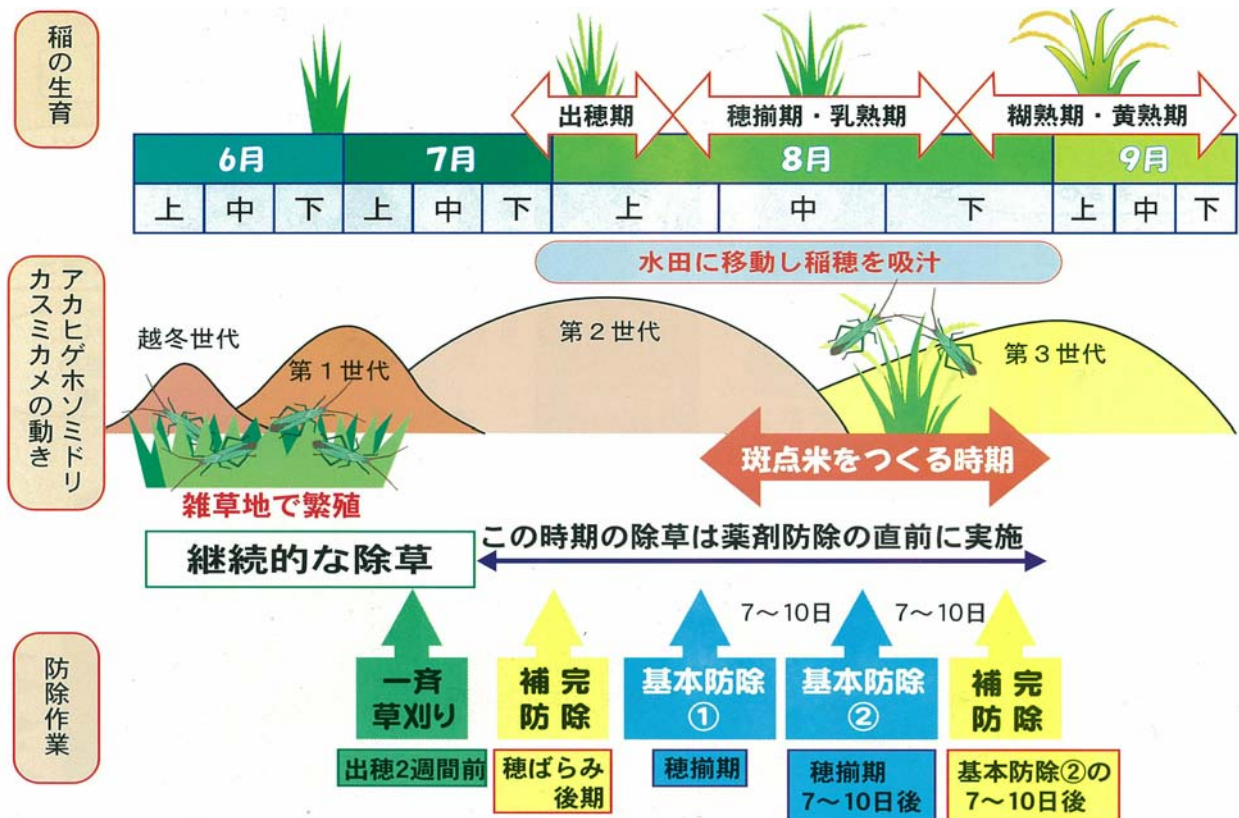
# 稲作だより 第5号

平成20年7月25日

出穂は平年から1～2日程度の遅れと予想され、はえぬきの出穂は8月8日頃と見込まれます。7月18日に斑点米カメムシ類の注意報が発表されました。7月19日に梅雨あけが発表され、いよいよ暑い夏を迎えます。防除の徹底と適切な水管理により、品質・食味の高い米を生産しましょう。

## ☆ カメムシ雑草地で増殖中！ 水田内でも確認！

### カメムシの発生は10年間で最も多い(病害虫防除所調べ)



### 薬剤防除の基本

- 基本は2回防除（穂揃期及びその7～10日後）
- 7月の発生が多い場合は穂ばらみ後期に補完防除する。
- 基本防除後も水田内でカメムシの飛来・生息が確認された場合は、基本防除2回目の防除から7～10日後に補完防除を行う。

## ☆ 穂いもちに注意！

穂いもちの発生が一部の圃場で見られます。7月上旬に穂いもちに感染しやすい日が多くみられたため、箱施用剤を使用した場合でも、発生の有無を早急に確認して下さい。

上位葉に穂いもちが発生しているほ場では、直ちに薬剤散布を行い、穂いもちの発生を防ぎましょう。

## ☆ 生育・天候にあわせた水管理の徹底を！

出穂期は水を最も必要とする時期です。低温時には保温的な水管理、高温時には一時的な湛水管理(暑さによるイネの消耗、品質低下防止のため)等、きめ細かな水管理で稲体の活力を維持しましょう。高温登熟時は出穂後2週間の水管理が特に重要です。

### ◎ 今後は間断灌水（2湛2落）を基本に根の活力維持を

「低温時は保温的な水管理」、「高温時には地温を低下させる水管理(高水温の湛水は逆効果)」を心がけましょう。

- 出穂開花期は一時湛水管理……水分を最も必要とする時期です。
- フェーン現象の高温乾燥時や強風時には湛水管理  
イネが水分不足にならないように注意します。

### ◎ 落水は出穂後30日を目安に

早期落水は品質低下につながります。

## 「山形97号」情報 No.3

普及課では、寒河江市と河北町で「山形97号」の生育を定期的に調査しています。これまでの生育は、コシヒカリに比べて、草丈短く、茎数やや少なく、葉色はやや濃く推移しています。出穂は8月15日頃と予想しています。

山形97号の生育データ（寒河江市・河北町の平均値）

品種	6月20日				6月30日				7月10日				7月18日			
	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉色	葉令	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉色	葉令	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉色	葉令	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉色	葉令
山形97号	27.6	337	35.6	6.9	34.4	585	44.7	8.6	43.6	627	37.8	9.8	55.4	578	36.6	10.6
コシヒカリ	31.3	409	37.9	7.3	43.0	670	42.4	9.0	54.7	720	37.5	10.2	64.2	684	34.7	11.0

### 米づくりやまがた日本一運動

JAさがえ西村山 JAさがえ西村山水稲部会  
村山総合支庁西村山農業技術普及課

### 常日頃からの実践！

- ☆ 農作業の事故防止
- ☆ 農薬の適正な使用